

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに当社グループ第94期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の招集ご通知をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当期、当社グループは中期事業計画「R1」の最終年度を迎え、現行ビジネスの安定化と利益ある成長に向けた取り組みを推し進めてまいりました。電池事業では新製品や環境配慮製品の開発、生産拠点集約による製品開発効率および生産性の向上に努めました。新電池開発においてはお客様との仕様検討やサンプル出荷の継続、パートナー先との協議を実施いたしました。また、「R1」の三本柱の一つに掲げた文化の醸成については、新人事制度の策定およびタレントマネジメントの実施、教育制度の体系化に加えて語学留学制度・自己啓発の機会を創出することで「誇れる会社 大切な人に勤めたい職場」への取り組みを進めました。

当期の経営成績につきましては、売上高はリチウム電池の円安による売上増加があったものの、ニッケル水素電池の海外向け売上が減少した一方で、電子事業の需要増により前期に比べ13億28百万円増の627億84百万円となりました。営業利益は経費削減に加え、電子事業の各種モジュールの売上増による利益の増加があったものの、原材料価格や水道光熱費の高騰の影響が大きく、前期に比べ12億94百万円減の7億89百万円となりました。経常利益は前期に比べ11億17百万円減の8億51百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に比べ4億22百万円減の3億18百万円となりました。また「R1」においては最終年度に売上高600億円、営業利益率5.1%、ROIC9.9%、新事業への投資として55億円を目指してまいりました。2020年度、2021年度については事業譲渡を行なったにもかかわらず事業規模が拡大し、営業利益率も2019年度1.4%から2020年度2.8%、2021年度3.4%と伸長した一方で、2022年度は売上高が目標を上回ったものの原材料価格等の高騰など外部環境悪化に対するレジリエンス不足により、営業利益率1.3%、ROIC0.8%と目標未達となりました。3年間累計では、売上高は目標を上回ることができましたが、営業利益率とROICは原材料価格高騰の影響による営業利益減により未達となりました。また、新事業への投資については外部機関と連携した開発に努めましたが13億63百万円にとどまりました。

配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

2023年度は、中期事業計画「R2」初年度として、「R2」に掲げる期間累計売上高2,000億円、営業利益50億円、ROIC5%、営業キャッシュフロー130億円の達成に向けて取り組んでまいります。「R2」においては、「R1」よりさらに厳しい経営環境下となることが想定されますが、高付加価値・環境負荷が低い製品開発の強化、生産効率やコスト競争力のさらなる改善、新製品および新市場の開拓を行なうことで「R2」の三本柱のうちの「主力ビジネスの利益ある成長の加速」、「新規ビジネスの始動と開拓」を確実に実行し、レジリエンスの強化と事業規模の拡大を推し進めてまいります。さらに「R2」の中で掲げた全社DXプロジェクトを経営と現場が一体となって推進するとともに、人的資本経営の観点から経営戦略と人材戦略を連動させることにより、もう一つの柱である「認め合い・高め合う文化の醸成」に努めることで企業文化・風土等の変革に繋げ、経営品質を高めてまいります。そして「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーに満足いただく「And Game」の実現のため、企業価値の向上に繋げてまいります。

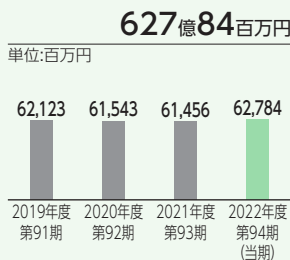


代表取締役社長  
長野 良

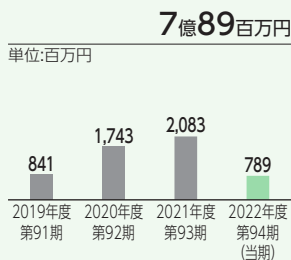
2023年6月

## 連結決算ハイライト

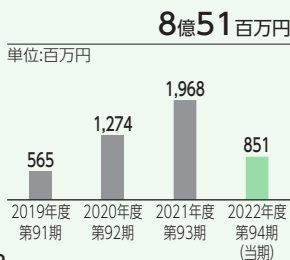
### 売上高



### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

